



テント倉庫の施工について

前号よりテント倉庫の工事について紹介しております。前号では工事全体の流れをご紹介しました。第2回目は基礎工事～トラスの組上げまでを説明します。

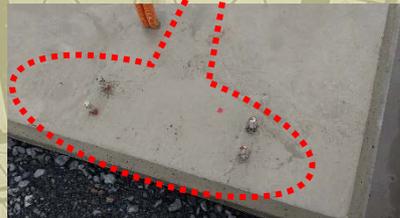
① 基礎工事

工事前に測量を行い、建築物の配置位置、土地の勾配等、地盤調査を行います。調査後、基礎工事になります。基礎工事の際には、柱用のアンカーボルトの設置も併せて行います。
※テント倉庫の施工の際も、あと施工アンカーは使用不可になりました。

お客様のご要望に合わせ、敷地面にコンクリートの土間を打つことも可能です。

基礎工事 完了後

※アンカーボルト設置済



② トラスの組上げ

基礎工事で設置したアンカーボルトに柱を立てて行きます。鉄骨の構造や、施工現場によって、柱を順番に1本ずつ建てることもあれば、地組した柱を纏めて立ち上げることもあります。



柱を立てたのち天井部分の骨組みを、組み上げます。地組した天井部をクレーンで吊り上げ、設置していきます。

天井部分の鉄骨組み上げまで完了です。次号も引き続き施工について、説明します。

今月の 完了報告書



ご安全に！
本コーナーでは弊社にて施工完了しました
物件をご紹介します。



施工内容

施工場所	岐阜県
サイズ	W92.0m×H3.5m
施工内容	芯材カーテン設置
使用膜材	ハリケーン アイボリー

現場からのコメント

荷捌き場に雨が吹き込むのを防ぎたい
とのご要望があり、芯材カーテンとテ
ント膜壁をご提案致しました。
出荷時の天候を気にすることなく積み
下ろし作業ができると、安心して使用
して頂いております。

施工管理担当 M.S



新米営業の恵那テント日報



ご安全に!! 営業部 中畑です。

本原稿を書いている時点で3月上旬ですが、貴社付近は暖かくなってきましたか？恵那は相変わらず朝氷点下です。

今回はお客様への営業周りについて、東京と岐阜（恵那）で感じた差を簡単に書いてみようと思います。
東京にいた頃の移動手段は、基本電車でした。車を使う＝納品位なものです。逆に恵那では車がないと身動きが取れません。駅まで歩いて1時間、電車も30分1本がざらにあります。また次の訪問先が50km離れてるとか普通にあります。営業周りしての感想を簡単にまとめると東京では突発的な事案に直接対応がしやすく、恵那では物理的に直接対応が厳しいことが多いと思います。このため営業周りはできる限り日にちをまとめて多くのお客様に訪問、社内にいる日は集中して事務作業をするという動きに変わってきたかなあと考えております。
ちなみにこちらに来てから一番変化があったのは営業時間中のスマホを見る時間ですね。運転中見れませんし、皆さんも一緒に「ながら運転、ながら歩行、ダメ絶対」 それでは本日もご安全に!!

施工管理 白木の 安全講習

「今日も一日ご安全に!!」



誰でも不注意などによって、**不安全な行動**をすることがあります。
不注意は悪ではありませんが **なくさなければなりません**。他人の不安全な
行動に気づけば、お互いに一声かけて注意を促してあげるのが親切です。
それが『**相互注意**』。相手が目上の人でも危ない時は
『危ないからそれはダメだ!』と言える人間になりましょう!!



本 社 〒509 - 7201 岐阜県恵那市大井町2695 - 875
TEL : 0573 - 26 - 4488 FAX : 0573 - 26 - 4489

関東営業所 〒222 - 0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-7
アリーナ通りビル 3F
TEL : 080 - 2639 - 3760

